

# 主要事業の進捗状況等について

## 頁

- 1 県政 150 周年記念の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 次期国際戦略プランの策定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 ジブリアパークの整備について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

政 策 企 画 局

## 1 県政 150 周年記念の取組について

県政 150 周年を契機とし、県民が愛知県の 150 年の歩みを知り、地域の文化・歴史・風土・産業などを再発見することで、県民の郷土への愛着や誇り（シビックプライド）を醸成し、将来も愛知県に住み続け、より良い未来の愛知を創造していきたいと感じていただけるよう、2022 年度の県政 150 周年に関する事業に取り組んでいく。

### 1 PR 事業の実施について（主な取組）

- 県政 150 年の歩みを振り返るパネル・映像を活用した PR
  - ・ 県民事務所等及び県内市町村（市町村は一部）を地域ごと（尾張・海部・知多・西三河・東三河）に巡るパネル巡回展示を実施。
  - ・ 映画監督の堤幸彦氏の協力のもと記念映像を作成中。映像は 11 月の式典で上映するとともに、一部を PR に活用予定。
- Web サイトや SNS 等による情報発信
  - ・ インスタグラムを活用した「わたしの住むまち あいちの未来」写真募集（6 月 13 日発表）。
  - 県政 150 周年を記念した小中高生向け絵画コンクールの実施
    - ・ 小中高生を対象とした「わたしの住むまち あいちの未来」絵画コンクールの実施（7 月 4 日発表）。
    - 各種イベントでの PR ブースの出展（10 か所程度）
      - ・ 県内各地で行われるイベントにおいて、県の PR ブースを出展。  
（7 月 18 日（月・祝）「豊橋みなとフェスティバル」に出展。8 月は尾張地区、9 月は西三河地区等）
      - ・ 7 月 9 日（土）・10 日（日）にイオンモール大高（名古屋市緑区）において、「愛知県政 150 周年 PR イベント」を開催。
  - 市町村や協力企業・団体、県各局による県政 150 周年連携イベントの実施
    - ・ 市町村、協力企業・団体（7 月末時点 362 者登録）、県各局が実施するイベント等に、「愛知県政 150 周年連携イベント」の「冠」をつけることのほか、ポスターの掲出やグッズ配布に協力してもらうことで、県内各地で広く PR（7 月末時点 181 件）。



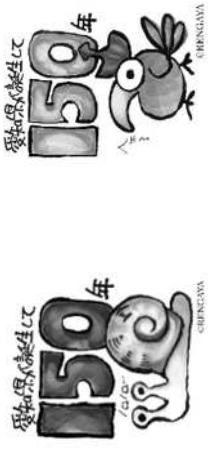
インスタグラムでの写真募集



小中高生向け絵画コンクール



イオンモール大高における PR ブースの出展



いこまいまい  
県政 150 周年記念ロゴマーク

あいちゅん  
県政 150 周年記念ロゴマーク

- 市町村、協力企業・団体、県各局におけるロゴマークやアイコンの利用
- ・ 市町村や協力企業・団体、県各局が作成するチラシや冊子等に県政 150 周年のキャッチフレーズ「愛つなぐ。知ひらく。」、ロゴマーク「あいちゅん」、「いこまいまい」、記念アイコンを掲載してもらい、周知を図る（7月末時点活用事例 89 件）。
- 交通広告の実施
  - ・ 県内の鉄道各社の駅や車内において、下表のとおり交通広告を実施（予定を含む）。

月	内容	月	内容
5月	・リニモ：車内広告、名鉄名古屋駅：デジタルサイネージ	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR名古屋駅・豊橋駅におけるデジタルサイネージ</li> <li>・名鉄の主要駅におけるポスター掲示</li> <li>・地下鉄主要駅におけるホームステッカーの掲出</li> <li>・地下鉄金山駅エスカレーター壁面ポスター掲示</li> <li>・リニモ・愛環における車内広告</li> </ul>
6月	・愛環：車内広告、名鉄名古屋駅：デジタルサイネージ		
7月	・愛環：車内広告、名鉄名古屋駅：デジタルサイネージ		
8月	・リニモ：車内広告、名鉄名古屋駅：デジタルサイネージ		
9月	・JR・名鉄の主要駅におけるポスター掲示		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR・名鉄の主要駅におけるポスター掲示</li> <li>・地下鉄主要駅におけるホームステッカーの掲出</li> </ul>		

- その他のPR活動
  - ・ 市町村、商工会、協力企業・団体等におけるポスターの掲出。
  - ・ 県内花火事業者のコロナ禍からのリスタートを支援するとともに、県政 150 周年を記念する花火イベントを 11 月にモリコロパークで開催。

## 2 県政 150 周年記念式典の開催について

- 現在の愛知県が誕生した 11 月 27 日（日）に愛知芸術文化センターで記念式典を開催。式典では、県政 150 周年を振り返る映像の上映や県政 150 周年功労団体等・小中高生向けコンクールの優秀者の表彰を行う。また、愛知ゆかりの著名人による講演や地元交響楽団による演奏会を予定。

<式典概要※Web サイトでのライブ配信を実施予定>  
 開催日：2022 年 11 月 27 日（日）  
 開催場所：愛知芸術文化センター 愛知県芸術劇場大ホール  
 参加者：国・県・市町村関係者、関係団体、協力企業・団体など  
 プログラム（案）  
 ・主催者・来賓挨拶 ・県政 150 周年を振り返る映像の上映  
 ・各種表彰（県政 150 周年功労団体表彰、小中高生向けコンクールの表彰）  
 ・記念講演会、記念演奏会

## 3 ブルーインパルスの展示飛行について

- 記念式典前日の 11 月 26 日（土）に県政 150 周年を記念し、航空自衛隊のブルーインパルスが展示飛行を実施。

## 2 次期国際戦略プランの策定について

### 1 策定趣旨

- ・ 現行の「あいち国際戦略プラン2022」の計画期間は、今年度末をもって終了する。
- ・ 国際社会は大きく姿を変え、世界の先行きは不透明感を増す中、第4次産業革命や脱炭素化の進展、新たな経済連携協定の枠組等による環境の変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大や、厳しさと複雑さを増す国際情勢といった世界の動きを捉えた新たな国際戦略が望まれる。
- ・ 本県が世界と繋がり成長する地域であり続けるために、次代を担う若者を中心に幅広く多層的な交流を展開するべく、今後5年間の戦略・施策の方向性を示した次期国際戦略プランを策定する。

### 2 計画期間

2023年度から2027年度までの5年間

### 3 あいち国際戦略プラン検討会議

学識者、国際機関、企業の海外部門責任者等の有識者からなる「あいち国際戦略プラン検討会議」を設置して検討。  
 <あいち国際戦略プラン検討会議委員>

氏名	団体・役職名
鮎京正訓 (座長)	愛知県立大学法人 理事長
遠藤和重	国際連合地域開発センター所長
アーナンダ・クマール	名城大学名誉教授、ランカ日本ビジネスインスティテュート学長
クリス・グレン	有限会社 PPF 代表取締役、インバウンドアドバイザー
増田智子	ジェトロ地域統括センター長 (中部)、名古屋貿易情報センター所長
山田 強	豊田通商株式会社 経営企画部長
山本いずみ	名古屋工業大学 留学生センター長
横山陽二	東海学園大学客員教授

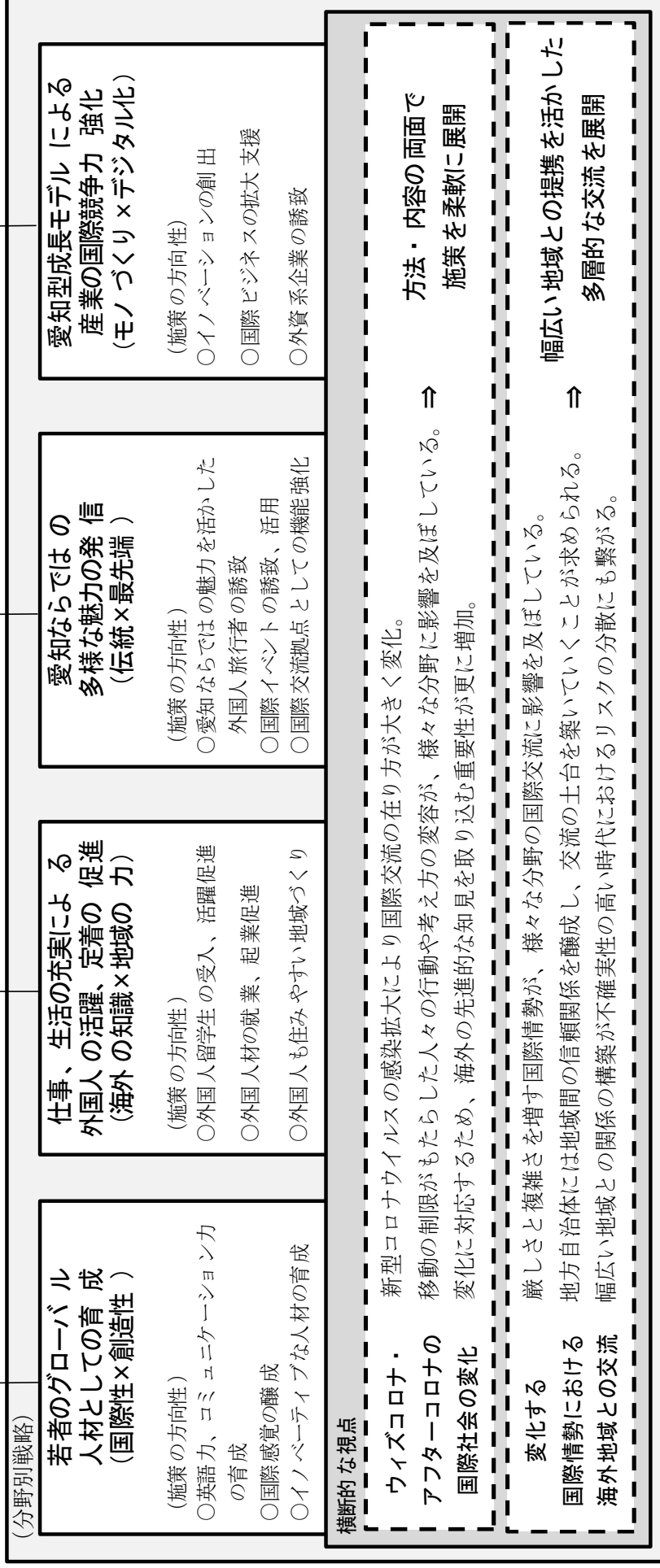
<あいち国際戦略プラン検討会議の開催状況>

- ・ 第1回あいち国際戦略プラン検討会議 (3月28日)：現状と課題認識、目指すべき愛知の姿について検討
- ・ 第2回あいち国際戦略プラン検討会議 (7月13日)：戦略・施策の方向性について検討

#### 4 次期国際戦略プランのイメージ

(目指すべき姿)

### 世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知



#### 5 今後の予定

- ・ 第3回あいち国際戦略プラン検討会議 (10月下旬)
- ・ パブリックコメント (11月)
- ・ 策定・公表 (12月)

# ジブリパークの整備について

## 1 整備の概要

### 〈整備エリア・開園時期〉

- 2022年11月1日開園予定の3エリア
  - ①青春の丘、②ジブリの大倉庫、③どんどこ森
- 2023年度中の開園を目指す2エリア
  - ④もののけの里、⑤魔女の谷

### 〈面積・概算事業費〉

- 5エリア全体で約7.1haを整備  
(愛・地球博記念公園の都市計画決定面積：約194ha)
- 約340億円(5エリア全体)

## 2 工事の進捗状況

- (1) 3エリアの整備について (①青春の丘、②ジブリの大倉庫、③どんどこ森)
  - 整備工事(建築・造園工事)は、2022年5月に完了。
  - 演示工事は、造形物の制作や現場への設置を進めており、2022年9月に完了予定。
- ①青春の丘(地球屋・猫の事務所)において演示物の現場設置工事を実施中)



図1 エリア配置図



図2 エレベーター塔  
(2022.4.1撮影)



図3 地球屋  
(2022.7.25撮影)



図4 猫の事務所  
(2022.7.7撮影)



図5 ロータリー広場  
(2022.7.25撮影)

※図3から図12の写真及び画像は転載できません。

②ジブリの大倉庫（「ネコバス」等演示物の現場設置工事を実施中）



図6 ジブリの大倉庫の工事状況  
(2022.7.25撮影)

③どんどこ森（エリアに至る園路の工事中）



図7 どんどこ森の工事状況  
(2022.7.25撮影)

(2) 2エリアの整備について(④もののけの里、⑤魔女の谷)

- 整備工事（建築・造園工事）は、2021年7月に着手し、施工中。
- 演示工事は、2022年7月に着手し、造形物を制作中。

④もののけの里（タタラ場において躯体工事を実施中）



図8 ものけの里の工事状況  
(2022.7.25現在、タタラ場)



図9 ものけの里 鳥瞰図 ©Studio Ghibli

⑤魔法の谷（ハウルの城・魔法の家・レストラン棟等において躯体工事を実施中）



図10 魔法の谷の工事状況  
(2022.7.25 現在、ハウルの城)



図11 魔法の谷の工事状況  
(2022.7.1 現在、魔法の家)



図12 魔法の谷 鳥瞰図 ©Studio Ghibli

3 運営準備の取組状況

- |       |    |  |
|-------|----|--|
| 2022年 | 1月 | ジブリパークに関するメディア向け発表会を開催（第1期3エリアの開園日を発表）   |
|       | 4月 | ジブリパーク第1期3エリアの入場料金を発表  |
|       | 5月 | ジブリパークPRチラシの配布を開始<br>※主な配布先：ジブリパーク周辺6市（名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、豊田市、尾張旭市、日進市、長久手市）の小・中学生、各種県主催イベント等   |
|       | 6月 | 遠足や修学旅行などの学校行事で利用可能な「子ども枠」の設定を発表<br>（7月11日受付開始）  |
|       | 7月 | ジブリパークPRポスターの配布を開始<br>ジブリパーク開園前内覧会の参加者募集を発表（7月13日～15日抽選申込受付）<br>チケットの販売開始及び「県民デー」の設定を発表<br>（11月チケット：8月10日～22日抽選申込受付、11月「県民デー」：7月25日～29日抽選申込受付） |



図13 PRチラシ



図14 PRポスター



#### 4 地域連携の取組状況

##### ＜ジブリパークを核にした地域全体の活性化＞

2021年 12月 「ジブリパークのある愛知」ロゴマークを発表（12月7日利用許諾開始）

2022年 1月 観光動画「風になって、遊ぼう。」によるPRを開始

3月 第3回ジブリパーク構想地域連携協議会を開催

〔 協議会の構成団体：愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市、  
愛知環状鉄道㈱、愛知高速交通㈱

（今年度実施する取組）

・藤が丘駅、愛・地球博記念公園駅、八草駅等におけるジブリパークをイメージした歓迎装飾

##### 5 公園北口広場におけるジブリパーク来園者等の受入準備

＜案内所・トイレ＞

○ 2022年10月中旬オープン予定

＜カフェテリア・売店、コンビニエンスストア＞

○ 2022年11月1日オープン予定

○ カフェテリア・売店においてジブリパークグッズや本県の特産品を販売予定

○ コンビニエンスストアの店内に設置された端末においてジブリパークのチケットを販売

##### 【参考1 2021年度までの主な取組】

2017年 5月 ジブリパークの整備構想について、スタジオジブリと合意

2018年 4月 ジブリパークの整備に係る基本デザインの発表

12月 「ジブリパーク整備構想の概要」を発表

2019年 5月 県、㈱スタジオジブリ、㈱中日新聞社の3者で基本合意書を締結。合わせて「ジブリパーク整備の基本方針」を発表

11月 ㈱中日新聞社と㈱スタジオジブリが共同で「株式会社ジブリパーク」を設立

12月 本県と愛・地球博記念公園周辺の自治体及び鉄道事業者を構成員とする「ジブリパーク構想地域連携協議会」を設立

2020年 1月 「ジブリの大倉庫」整備予定地である旧温水プール棟内部の施設等撤去工事（除却工事）に着手

2月 ジブリパーク整備の概要を発表。5エリア全体の概算事業費等を提示

7月 3エリアの整備工事請負契約について、ECI方式優先交渉権者である鹿島建設株式会社中部支店と契約締結。同月

28日に起工式を開催し、整備工事に着手

2022年 3月 愛・地球博記念公園エレベーターの利用再開に伴う御披露目を実施

【参考2 ジブリパーク整備の概要】

【概算事業費】

項目	3エリア	2エリア	合計
工事費	約166億円	約144億円	約310億円
建築工事 (内装工事を含む)	約118億円	約78億円	約196億円
内訳 造園工事 (外構工事を含む)	約11億円	約39億円	約50億円
展示・演示工事 (調度品調達を含む)	約37億円	約27億円	約64億円
設計・監修費 ( ・設計費 ・工事監理費 ・デザイン監修費 )	約16億円	約14億円	約30億円
合計	約182億円	約158億円	約340億円

整備に当たっては、充当率及び交付税措置が有利な起債や、国からの交付金をできるだけ活用する。

【施設整備スケジュール】

年度 エリア名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①青春の丘	基本構 想 基本設 計	実施設計	実施設計	工事	開園	開園
②ジブリの大倉庫						
③どんどこ森						
④もののけの里						
⑤魔法の谷						
					※秋 開園	※年度内 開園